

# 樂美術館事業報告要旨

令和 5 年度 期間：2023年4月1日～2024年3月31日

## I 美術館活動事業

### 1. 作品・資料公開活用に関して (詳細は別紙の通り)

#### (1) 展覧会活動

- 1) 新春展 春の歳時記一樂のおもてなし
- 2) 樂歴代特別展 ちゃわんやのともし火
- 3) 開館45周年記念特別展 定本樂歴代
- 4) 新春展 うたと樂焼

#### (2) 手にふれる美術館活動

特別鑑賞茶会

手にふれる樂茶碗鑑賞会 ※コロナ禍の為中止

親子で見る展覧会 解説とワークショップ ※コロナ禍の為中止

#### (3) 他機関との協力活動

- 1) 他の美術館・博物館との協力事業
- 2) その他の機関・団体との協力事業

### 2. 保存・修復に関して

- 1) 館蔵作品の保管修理を行う。

### 3. 作品・資料収集に関して

- 1) 作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実をはかる。予定作品は現在は未定。

## II 研究・資料図書公開事業

- 1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。
- 2) SNSを利用して、1)の利用拡大に努める。

## III 学校・社会教育事業

### (1) 小・中・高等学校への協力活動

- 1) 「親子でお茶一服」を開催した。 ※コロナ禍の為中止
- 2) 研修授業・修学旅行学習等への協力をした。

### (2) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力活動

### (3) 地域社会への文化事業協力、社会教育活動

## IV 入館者数状況

## I 美術館活動事業 1. 作品・資料公開活用に関して (1) 展覧会活動

### 館展示事業

**展示事業 1 新春展 春の歳時記-樂のおもてなし-** 2023年4月1日（土）～ 4月23日（日）  
※実際の会期は、2023年1月7日（土）～ 4月23日（日）

春を祝う行事には、古来より豊かな実りや健やかな日々を願い、祈りが捧げられてきました。時代を越え現在でもなお私たちの暮らしに息づいており、何気なく配されている意匠にも祈りが込められている。

そんな春に因んだ風習や行事をはじめ、時候や動植物、人々の生活などを題材にした銘のある作品などをご紹介します。

**展示事業 2 樂歴代特別展 ちゃわんやのともし火** 2023年4月28日（金）～ 8月27日（日）

利休の創意のもと、「侘び茶」に叶う新たな茶碗を生み出した樂家初代・長次郎。唐物、高麗の茶碗が名品とされていた中、和物茶碗としても新たな挑戦であった。「侘び茶」の思考を軸とし、茶の為に生み出された樂茶碗。轆轤が主流の時代の中、あえて手と篋のみで成形する「手捏ね」という手法で造られ、燃え盛る炎の中から熱いまま一碗のみ窯から引き出される特殊な焼き方で茶碗が誕生していく。そして始まりから約四百五十年、“ちゃわんやのともし火”は、令和の時代へと受け紡がれる。この度の展覧では、長次郎から脈々と紡がれる樂歴代の茶碗や実際の窯の炎の映像などから樂焼がもつ精神性を探る展覧会。

**展示事業 3 開館45周年記念 定本樂歴代** 2023年9月2日（土）～ 12月24日（日）

この度 樂美術館監修の『定本 樂歴代』が新しく改訂版となり、解説者も、惣吉から十六代吉左衛門、15代直入が担当。

本展では、長次郎から十六代吉左衛門まで、また樂家と外戚になる本阿弥光悦、玉水焼初代一元を加え、それぞれの代表作となる名品を展覧、樂焼の歴史、作風の特色とその変遷を探る。樂歴代は、初代長次郎以来、極めて作家性に目指した、独自の作風を確立してきた。

それは、千利休の言葉にもあるように、変わらない本質と時代変化の中で新たな作風を追求すると言う、「不易流行」あるいは「守破離」と言った言葉に何う精神を今日まで450年にわたって伝えてきたと言える。本展はそうした伝統と創造に掛ける、歴代の作陶を真正面から捉える展覧会。

**展示事業 4 新春展 うたと樂焼** 2024年1月6日（土）～ 3月31日（日）  
※実際の会期は、2024年1月6日（土）～ 4月21日（日）

茶の湯では和歌や漢詩の詞から引用し体現することが多く、茶道具の魅力をより一層引き立てるため、銘の多くが和歌の季の詞や漢詩の一文からとられている。

そんな和歌や漢詩などの「うた」からとられた銘に注目し、焦点をあてた展覧会。

## I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

### 1. 手にふれる樂茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は、茶碗をはじめとした茶の湯工芸品である。館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。作品の解説、質疑応答を行う。

・開催期日

コロナ禍の為、全て中止。

#### 【特別開催】

9月14日 京都ホテルオークラ「季節の旅」18名

学芸員が手のひらを行い、その後、黒窯制作ビデオ上映。その後「開館45周年記念 定本樂歴代」を鑑賞した。

### 2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長樂直入による作品解説、質疑応答を行う。

2024年3月24日 コロナ禍で2度延期していた茶会を開催した。

#### 【特別開催】

2023年5月22日 株式会社京都春秋 参加者5名/4名

5月26日 株式会社TOKI グローバルリーダー 参加者16名

2024年3月25日 株式会社京都春秋 参加者8名/5名

### 3. 親子でお茶一服

コロナ禍の為、全て中止。

### 4. 親子で見る展覧会 解説とワークショップ

コロナ禍の為、全て中止。

## I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (3) 他機関との協力活動

### 1. 他の美術館・博物館への出品・講演など協力活動

- 1) 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
- 2) 公益財団法人 佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。  
「樂直入展 一守破離の彼方」  
2023年3月16日（木）～9月18日（月・祝）  
  
「吉左衛門X 浦上玉堂×樂直入」  
2023年9月30日（土）～2024年1月28日（日）
- 3) 9館連携・相互割引  
京都国立博物館、野村美術館、北村美術館、泉屋博古館、湯木美術館、  
滴翠美術館、中之島香雪美術館、逸翁美術館、弊館含め9館で、  
「茶碗」に関する展覧会を開催するにあたり、相互割引に協力した。
- 4) 表千家北山会館  
相互割引に協力した。
- 5) 美術館「えき」KYOTO 展覧会協力・相互割引  
「石をやく 土をやく 樂雅臣 樂直入」  
2024年1月2日（火）～29日（月）
- 6) 東京国立博物館 展覧会協力  
「特別展 本阿弥光悦の大宇宙」 2024年1月16日（火）～3月10日（日）  
初代長次郎 黒樂茶碗 面影  
本阿弥光悦 黒樂茶碗 村雲 他 計7点

### 2. その他の機関・団体との協力活動

- ・ MOA美術館主催  
光琳乾山忌茶会 掛釜 濃茶席  
会場：京都平安郷（広沢の池）  
日時：2023年6月2日（金）・3日（土）